

いぎいき男女共同参画

煌く人とひと、連なる峰々へ

日本女性会議2008とやま開催

今年度の日本女性会議は富山市で、全国から2千500人が参加して開催され、飯山市からは13名が参加しました。1日目は全体会で、内閣府の板東久美子男女共同参画局長が基調報告を行い、女性の管理職や研究職は先進国の中で割合がかなり低く、基本法の下に推進されてはいるが、まだまだ道半ばであると話されました。基調講演は、中央大学教授広岡守穂さんが「男女共同参画 何が



基調講演する広岡守穂さん

薬売りとちんどんが再現された



シンポジウムは「みんなが輝く未来のために」高橋はるみ北海道知事、岩田喜美枝資生堂副社長、鹿嶋

敬実践女子大教授が、男女間のよりよい関わり方などについて意見交換しました。2日目は「子育て」「政策決定における男女共同参画」「ワーク・ライフ・バランス」「豊かな地域づくり」など13のテーマの分科会が行われました。記念講演は歌手の加藤登紀子さんが



13の分科会で活発な討議がされた

「土のひびき」と題して、アジア各地を旅して、途上国の環境が汚染されていること、ローカルリズムとグローバルリズム、環境循環型社会のことを話されました。鴨川自然王国のことにふれ、おじいさんやおばあさんの知恵、地産地消、自分で育てたものを自分で食べる喜びを話されました。最後に歌った「百万本のバラ」は客席を深い感動でいっぱいにしました。「男女共同参画社会の実現」に向けて議論が深められた有意義な大会でした。来年は堺市で開催予定です。



内山さんの質問に旗を掲げて答える



常盤地区で「ファイファイ」の演奏

「あなたと私の共同参画講座」第4回は、公開講座・常盤地区男女共同参画学習会として開催しました。フリージャーナリスト内山二郎さんによる旗揚げアンケート形式のワークショップで、受講生と地元からの参加者が一緒に熱いトークを繰り広げました。内山さんは「男女共同参画とは、分かったようで分からない言葉です。本音で語る事が大事です。男女の性差には生物学的な違いの他に、社会的歴史的につ

いぎいき女性センター未来パワーアップ講座

訪問介護員養成研修2級課程修了!

今年で3年目となる訪問介護員（ホームヘルパー）養成研修2級課程の修了式が10月30日に行われました。受講生は、130時間のカリキュラム（1日6時間、延べ21日間）を互いに

励ましあい、また和気あいあいと、熱心に学習され、20人全員に修了証明書が授与されました。今年度は、ハローワーク飯山の協力を得て、4事業所の合同面接会を修了式に

合わせ開催しました。修了生は、各々の企業ブースで担当者の話を熱心に聞いていました。今後の地域での活躍が期待されます。

修了生の感想

“お年寄りや人生の先輩”という言葉が一番心に残った。“やってあげる”ではなく“させていただく”を学んだ。

自分が最初に思っていた介護への考え方、見方が変わった。これからの人生、この経験を生かしていきたい。

研修を通して仲間ができ、これから福祉の仕事をしていく上で力になると感じている。自分のスキルを高め、頑張りたい。

飯山に来て半年、うち4ヶ月は研修だった。飯山ならではの伝統、あたたかさ、人と人とのふれあいを大事にしたい。

20人の仲間と囲まれ、仕事との両立は大変だったが、無事修了できた。訪問介護では人とのふれあい、サービスでは経験できないことを学ぶことができた。これからは介護職に誇りを持って仕事をしていきたい。

知識を得ることにより、より高い介護ができると思い受講した。介護される人を第一に考えなければならないということはこの研修で学んだ。これからも周りの人の笑顔を大切に接していきたい。



△合同面接会での様子



△基本介護実習でのシーツ交換

10月25日須坂市メセナホールでフェスティバルが開催され、県内からの参加者で賑わいました。午前は、クロイン病という難病と20年以上も付き合っている奥田良子さんのフルートとオカリナ、その妻を心身両面でサポートする夫のベースギター担当の奥田勝彦さんとの演奏に酔いしれ、良子さんの歯切れの良い神戸なまりのトークに涙しました。夫妻は、二人だけの音楽ユニット「エスペランサ」を結成し、日本中の人々に夢と勇気と希望を与えています。この夫婦の生きる姿に感動しました。午後は、実行委員による朗読劇とフリージャーナリスト内山二郎さんの会場全体のディスカッションで「男女共同参画社会（性別に関わらず、一人ひとりの能力や個性が生かされる社会）」をもっと良く理解できるようにと日常の家庭生活を見直すところから始まり、会場全員が質問に答え、それぞれの意見を聞きました。



△エスペランサの演奏

印象的だったのは、会場の旗の色を数えてくれた須坂園芸高校生が、自分は学校で男女の不等等を感じていないが、会場にいるほとんどの人が、職場、地域、家庭において不等等を感じていることにショックを受けたという言葉でした。私たちは、子どもたちのためにもより学習していく必要性を感じました。また改めて自分の生活を見直すことができ、また他の家庭も垣間見ることのできる自分が置かれている社会全体の考え方を学ぶ良い機会になりました。家族の一人ひとりが自分の人生を生き生きと過ごしていることが、社会を良くしていく原動力になるのだと感じました。

常盤地区で「ファイファイ」の演奏

人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
(内線 371)
E-mail：
jinken@city.iiyama.nagano.jp
いぎいき女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543
E-mail：
center-mirai@city.iiyama.nagano.jp